

平成 13 年度  
都市水害に関するシンポジウム  
講演概要集

平成 13 年 10 月 30 日（於 福岡ガーデンパレス）

主 催：土木学会西部支部  
九州大学西部地区自然災害資料センター

# 土木学会西部支部調査研究委員会 実施計画書

- ・委員会名 都市水害の実態と危機管理に関する調査研究委員会
- ・部門名 II
- ・活動期間 平成13年4月～平成15年3月

## ・目的

我が国の治水の整備水準はいまだに低く、計画規模を上回る豪雨の可能性は常に存在している。昨年9月の東海豪雨災害、一昨年6月発生した福岡水害は、その豪雨が都市域で発生し、都市機能に壊滅的な打撃を与えた。そのため、水害対策を河川整備などに依存するのは限界があり、事前の氾濫シミュレーションやハザードマップと避難計画の作成、氾濫時の情報伝達や行政機関の対応など、被害を軽減化するための危機管理が必要である。

西部地区では1982年長崎水害、1993年鹿児島水害など激甚な都市水害も経験しており、危機管理について施策の充実が急務となっている。

本研究の目的は、過去に発生した主な都市水害の実態を調査するとともに、氾濫・避難シミュレーション技術および氾濫時の避難計画や情報伝達など危機管理施策の現状・課題について調査研究を行うことである。

## ・調査・研究内容

本研究においては、まず、1982年長崎水害、1993年鹿児島水害、1999年福岡水害など西部地区で発生した都市水害、および2000年東海豪雨災害などを事例として、河川や下水道からの氾濫水の挙動の実態、電気、通信、交通など社会基盤や都市機能の被害の実態を資料解析、現地調査などにより明らかにする。また、住民の避難行動特性、災害弱者の救助システム、行政機関の対応、情報伝達、車両通行などの実態も調べる。

一方、これらの被災地における災害後の危機管理施策についても調べ、その現状・課題を探る。

次に、河川や下水道からの氾濫シミュレーションの手法について実例調査を行い、その手法の問題点を明らかにする。

最後に、以上の成果を基にして、都市域における浸水危険度の事前評価、災害弱者の救助、住民への避難情報伝達のための氾濫・避難シミュレーションの技術開発の指針を提示する。

本委員会は、河川工学、都市水文学、防災工学など土木系の研究者、心理学や社会学など人文社会系の研究者、河川行政の実務経験のある研究者、防災行政の実務者、および河川技術者から構成されている。広範な視点から都市水害の実態と危機管理について調査研究が行われる。

## 委 員 構 成

委員長	橋本晴行 渡辺訓甫 高橋和雄 彥田彰秀 大本照憲 疋田 誠 渡辺勝利 渡辺政広 松永勝也 横田尚俊 金木 誠 館 健一郎 内村弘文 白石明彦	(九州大学大学院工学研究院 助教授) (佐賀大学理理工学部 教授) (長崎大学工学部 教授) (長崎大学工学部 助教授) (熊本大学工学部 助教授) (鹿児島工業高等専門学校 教授) (徳山工業高等専門学校 助教授) (愛媛大学工学部 助教授) (九州大学大学院システム情報科学研究院 教授) (山口大学人文学部 助教授) (国土交通省 国土技術政策総合研究所) (国土交通省 国土技術政策総合研究所) (福岡市市民局 地域振興部) (北九州市消防局 防災対策課)
副委員長	大和則夫	((株) 東京建設コンサルタント 九州支店)
幹 事	宮田英樹	((株) 東京建設コンサルタント 九州支店)
幹 事	原田民司郎 石本俊亮 尾登辰也 益田宗則 吉賀淳一 山崎一彦 加治木博明 松田如水 井上 博 内田幸久 (小林博昭) 松尾賢二 牧野治生 吉津 憲	((株) アクア・ティッペン) (建設技術研究所 九州支社) (日本工営 (株) 福岡支店) (日本工営 (株) 福岡支店) (八千代エンジニアリング (株) 九州支店) (八千代エンジニアリング (株) 九州支店) (パシフィックコンサルタンツ (株) 九州本社) (パシフィックコンサルタンツ (株) 九州本社) (西日本技術開発 (株) ) (西日本技術開発 (株) ) (九州建設コンサルタント (株) 福岡支店) (九州建設コンサルタント (株) 福岡支店) (日本ミクニヤ (株) 九州事務所)

## 目 次

1993年鹿児島豪雨による都市型水害の教訓	1
鹿児島工業高等専門学校 宮田 誠	
都市下水道流域の浸水はんらんと都市河川の洪水について	4
愛媛大学工学部 渡辺 政広	
希に発生する事象への人の対応特性	7
九州大学大学院システム情報科学研究院 松永勝也	
地下空間における浸水対策の昨今の動向	10
国土交通省国土技術政策総合研究所 館 健一郎	
長崎水害における都市水害（車、建物附属施設）	15
長崎大学工学部 高橋和雄	
水防対策の強化重点策：福岡市～平成13年6月の大雨を教訓として～	19
福岡市市民局 内村弘文	
福岡水害時～北九州市の場合	22
北九州市消防局 白石明彦	
招待講演	
2001年7月韓国ソウルで発生した都市水害	25
韓国慶東情報大学 朴 埼鎬	